



ISP業界の狙
い



インターネットの
崩壊とその背景

斉藤・w・ルビンスキー

一度表紙を作ると修正不可能の為前置き

強制的に読ませる広告メール

I S Pの傲慢な対応が、メールプロトコルの天下統一化を招きました。
そこで、業界暴露情報とインターネット完全攻略本を一緒にした
本として、記述する事にしました。

IP/v4とIP/v6の扱い

IP/v4の在庫がなくなり、IP/v6メインになっていくが
マンション会社系 直営のISP、ケーブル会社は、IP/v6に興味ないので
一般家庭向けのISPは、IP/v4とIP/v6の両方のインターネット
マンション会社直営のISP、ケーブル会社は、IP/v4のインターネットのみ
が見れるというネット環境で落ち着くだろう。

通常の光回線系のISP

IP/v4・IP/v6の両方は見れる

マンション会社直営やケーブルテレビ回線

IP/v4のみ提供

迷惑メール業界の天下統一

昔はプロバイダに通報というのがあったが、メール送信設備とサーバ設備が違うとうちではありませんと

メール送信してる人とHP運用者は違うはずですよという考えのもとISPは判断し、処理しなくなった結果

迷惑メール業界が、メールプロトコルを天下統一している。

それに伴って、いろいろ受け取れるようにメール保存容量を増やすという行為をした結果メールプロトコルは白骨化した。

効率よく苦情処理するには？

spamcopという外国が運営しているシステムがあります
ヘッダと本文を入れる事で自動的に解析し、独自管理する
BlackListDnsにも登録をするすぐれものです。

また、苦情内容をCCで受け取る事ができるのも魅力です

*ただし捨てアドで指定しないと相手には丸見えです

現在は日本のIPアドレスに関して、ブラックリスト登録処理を一切していない
事を確認してますので思う存分、がんがん利用しましょう

気楽な考え方

ISP提供のメールは迷惑メール受け取り専用のメールと考え
メールアドレスを変更しないまでも
「spamcop」にて苦情を送り続ける事が大事である

ただし、「spamcop」はgmailを敵視しており
90%で413エラーを出すのでgmail宛にメールがきたら
素直にメールアドレスを切り替えよう

データベースを確認するには？

DNS専門家ではネタコマンド扱いである、NSLOOKUPコマンドを使う。
調べたいIPアドレスが、a.b.c.dだとしよう。
spamcopのデータベースは、bl.spamcop.net
である。

なので、d.c.b.a.bl.spamcop.netで検索すればよい。

ちなみに、逆引きはd.c.b.a.in-addr.arpa.
という形式で逆引き名が登録されている。

ISPは顧客命

ISPは Internet Week 2004にて、規制の厳しいISPに乗り換えればよいという意見で、万丈一致の意見となっている。

即ち、見ず知らずの人はクレームするなというのがISPの本音だ

spam報告しても削除されないサイト

大抵はそのスパマーとグルで
ホスティング先がデータセンター（スパマー組織か
スパマー組織と協力関係）というケースはよくある話です。

プロバイダやレンタルサーバはスパマーでも
お金を払ってくれる客です。
企業方針にもよりますが、スパマーをかばう会社運営
があってもおかしくはありません。

業界の共通ルールとして、メール送信設備会社とWEB運営設備会社
が違う場合は一切削除をしないというのが日本では共通業界ルールです。
普通、他人のHPを勝手に宣伝するでしょうか？
しかも、誘導が成功するように本気でフィッシング文章を考えて・・・

いくつか取材をしていると
やはり、メールとWEBの運営設備会社が違うのは、違う人のはずだというのが
ISPの業界常識のようです。

海外の場合は、問答無用で削除の所もあるようです。

インターネットユーザで勝ち組になるには？

メールアドレスは使い捨てという意識を持ち

spamが届きはじめてたら問答無用で変更・放置する心

(POPサーバを一切見ない) を持つ事が重要である。

I S Pもスパム対策によるもので資金を得ており、メールアドレス変更料もその一つだ。

ここはその方式に則って、そのメールサーバには接続せず放置

という方法が臨機応変の方法だろう

- ・ 一回の変更料金が有料であるならば、迷惑メールが届き始めたらPOPサーバに接続しないで放置する
- ・ 何回か変更料金が無料であるならば、その回数分はメールアドレス変更の臨機応変が必要である。

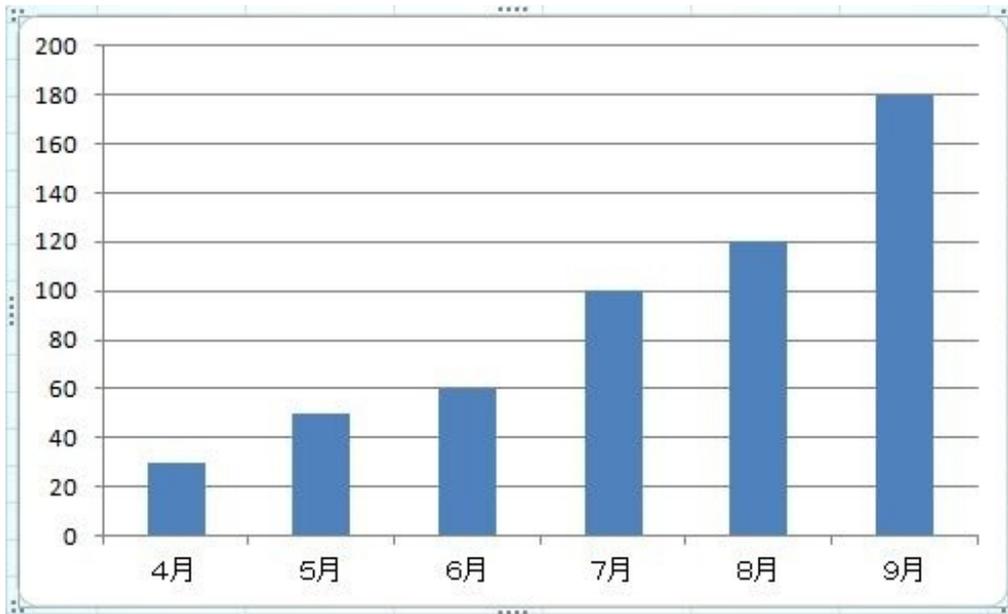
今現在は、メール技術はスパム業界が天下統一をしており

同じメールアドレスを使い続ける事は時代遅れ&情弱者と言える。

メールアドレスは変動させるものだ。

固定で使うのは時代遅れの人間だ。

メールアドレスを保持する事がばからしい



アカウント削除とかのルールがないISPだと消えない為
どんどん着弾数が増えている事がわかる。

DNSキャッシュポイズニング

そのキャッシュサーバが知らない情報を他サーバに問い合わせる時
問い合わせに使うポートをランダムにして、キャッシュを書き換えられないようにする
というのが安全策の一つでもあるんだけど

プロバイダによっては面倒、負荷軽減という理由で対策をしない所もある
そういう所を狙って、未対応DNSでアクセスした場合は使ってるユーザ全員に
サポセンに問い合わせさせて業務妨害をしようという試みがDNS専門家によって
行われている。

仕組みとしては、ランダムポート化してないDNSから問い合わせがあったら
別ページに飛ばして、所属ISPのサポセンに問い合わせるように誘導している点だ。
簡易計算的には、ユーザー数が大規模だとサポセン設備が一発でパンクする計算だ。

Google Public DNSの謎

一部のページでは、Google Public DNSの動きが謎という事で正引き問い合わせを拒否しているケースがある

噂としては、何億台のキャッシュDNSサーバが一斉にアクセスしてくるかもって事に変な嘘でぶるってる人が多い。

時代の変化

昔はユーザIDとパスワードをいれればいろいろなブロードバンドルータを使えば、自由にインターネットできるが

ダイナミックDNSが人気になり自宅サーバが増えた
また、メールの崩壊の原因となるPORT25の問題も発生
そう、メールサーバを独自に建てててどんどん送信始めたのである。

プライベートIPアドレスも、クラスAのを設定すれば何千台と接続可能という事でISP達も本格的に、台数制限を始めた。

そういう背景もあり、市販のブロードバンドルーターメーカーが全滅したとしても日本のインターネットは大丈夫だろう

お客のニーズに応えるじゃなく使い方を制限

迷惑メール業界がメールを天下統一し

メールプロトコルが終わった。

以前のように自由にすると、プライベートアドレスで
一千万台からのスパム発信というカオス状況を生み出す

一部のユーザでは動画交換は直接やりとり等の回避策
祭りなのでそれに対応する為、制限を大量に設けている。

基本電話が携帯電話になった結果

各業者、競って固定電話を捨てるような策略を練り始めた。
携帯電話系が売れるなら固定電話を捨てるという手法だ

番号ポータビリティも人気になった結果

固定電話の地位も一番下になった

どれくらいかというと、「どうせそんなに使わないんだったら
電話線も使いにくくていいでしょ」というレベルである

固定電話を放置して、携帯電話のみを使う方法が日本人にとって
勝ち組と断言できる時代となった。

もっというと、固定電話そのものが消え失せても経済的に
問題ないレベルだろう

矛盾な空間

確認とってもらったら、違う形で確認が帰ってきた

そういつてるのに、変な確認が帰ってきた

なんて事はありませんか？

実は親会社（運営元や本体運営元クラス）で、公式の回答方法（確認方法）があり
回答内容が、そのセンターではルール内 かつ 最終的にはクレームにならない
かつ 質問者が適切な回答である

回答でも、親会社（運営元や本体運営元クラス）はその録音内容を
100%間違った回答として評価しています。

その影響が謎の矛盾な空間を綺麗に生み出してるわけです。

もちろん、100%間違った回答と判断・評価という事はひょっとしたら
退職しているのかもしれませんが。

SSLの存在意義

メールの暗号化でPGPに敗北している為。

すでに、独自SSL（オレオレSSLなどとも言う）が常識である。

CAに頼る方が雑魚である。

ISP業界の狙い

<http://p.booklog.jp/book/43980>

著者：齊藤・w・ルビンスキー

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/saitouwrubinski/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/43980>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/43980>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.